

# 令和7年度第1回豊明市営墓地・都市公園指定管理者審査委員会

## 議事要旨録

日時 令和7年7月23日(水)

午後1時30分～

場所 豊明市役所 教育委員会室

### ○出席者(敬称略、順不同)

審査委員：井澤、金子、中田、萩野、松本

事務局：都市計画課 公園施設係、環境課 環境保全係  
生涯学習課 文化・スポーツ係

指定管理者：豊明墓地・都市公園パートナーズ(以下“パートナーズ”と表記)  
西武造園(株)(構成企業)、(株)豊橋園芸ガーデン(構成企業)

### 事務局より

当会議は非公開とする。議事録は要約したものとし、発言者は匿名とする。

委員6名のうち、出席5名で過半数以上の出席により会議は成立。

## 1. あいさつ

(委員長挨拶)

今年は梅雨が短く、既にかかなりの暑さとなっている。近年では暑さ対策が難しいため、夏場のイベントを春や秋に移すといった動きがある。公園は気候変動の影響が大きいため、そのあたりを意識して審査していきたいと思います。

## 2. 議題

### (1) 令和6年度管理運営の実績報告について

パートナーズより令和6年度の指定管理実績を事業報告書に基づき報告。

質問・意見等

(委員)

企業努力により一番支出を削減できたものは何でしょうか。

(パートナーズ)

委託費です。直営を増やし、委託を減らしました。除草などで繁忙期の夏と閑散期の冬でシフト調整を行い、人件費も削減しました。

(委員)

どの市町も苦しい状況だが、除草回数はどれほどか。

(パートナーズ)

基本的に3回ですが、場所によっては増やしています。回数を増やせば支出も増加します。

(委員)

施設が原因となった事故など、安全面で問題はあったか。

(パートナーズ)

特にありませんでした。

## (2) 令和6年度モニタリングレポート（年次評価）について

四半期ごとのモニタリングに基づき作成したモニタリングレポート（年次評価）について各項目の説明。団体の経営状況について金子委員から分析結果の報告。以上を踏まえ審査会のコメントを以下のとおりとした。

「変わらずの赤字ではあるが、昨年度までに比べて赤字額が大きく減少しており、収入の増と支出の減に努めている。収入増の柱であるイベントは盛況で地域の賑わい創出に大きく貢献している。収支の改善や猛暑下での除草の遅れなどの課題を解決して、盤石な運営体制のもと維持管理していただきたい。」

モニタリングレポート（年次評価）、審査会コメントともに承認された。

## (3) 令和7年度事業計画について

パートナーズより令和7年度事業計画を事業計画書に基づき説明。

質問・意見等

(委員)

樹木点検について、令和6年度の専門的な点検という記載から令和7年度は造園的な点検と記載が変わっているが、こういった意図でしょうか。

(パートナーズ)

令和6年度は資格を持った者しか点検していませんでしたが、点検用のチェックリストを作成し、誰でも点検可能な体制ができましたので令和7年度より実施しています。

専門的と記載がある以上、有資格者による点検が必要になるので、令和7年度からは語弊がないよう造園的に変更しました。

(委員)

試験を行っている雑草の抑制剤の効果はいかがでしょう。

(パートナーズ)

現状ではそこまでの効果はありません。引き続き試験を行い、様子を見ます。

(委員)

毎年収支が合わず、赤字が課題となってしまっている。委託費増加、光熱水費の増加があるが、企業努力では難しい状況か。

(パートナーズ)

光熱水費は補助金制度次第で変わりますが、計画段階では補助金がない想定です。ゴミ回収を委託から直営にし、ゴミ集積所など支出の削減には努めている。一方で除草が直営では難しい公園があったので委託場所を増やしたこともあり、委託費が増えました。

暑さは全国である問題でどこも同じ状況です。人件費が増加し、物価も高騰しており、苦しい状況です。

### 3. その他

事務局より議事録とモニタリングレポートをホームページに掲載する旨の説明。